

教育委員会臨時会議事録

会議名 教育委員会臨時会
開催日 平成30年8月2日（木）午後1時00分～午後1時43分
開催場所 議会棟5階 第2委員会室
出席者 高須教育長、真野教育長職務代理者、藤田委員、玉井委員、坂本委員、秋元委員

事務局等出席者

有山教育監、野呂教育監、山口教育指導課長、遠藤教育研修センター所長、後藤第七中学校長、籠本教育指導課係長、中村教育政策総務課係長、浦戸教育政策総務課係長、河野（教育政策総務課担当）

○高須教育長

ただ今から、中学校教科書採択のための教育委員会臨時会を始めさせていただきます。

本日の案件は、議決事項が1件でございます。

本日の署名人は、玉井委員にお願いいたします。

まず、本日の配付資料について確認をいたします。

事務局から説明をお願いいたします。

はい、山口課長。

○山口教育指導課長

本日の配付資料は、教育委員会臨時会の議案書でございます。

以上でございます。

○高須教育長

それでは、議案書1ページ、議案第28号、平成31年度使用中学校教科用図書の採択についてを議題といたします。

事務局から説明をお願いいたします。

はい、山口課長。

○山口教育指導課長

ただ今御上程いただきました議案第28号、平成31年度使用中学校教科用図書の採択について、平成31年度使用中学校教科用図書の採択を行いたく、教育委員会の議決を求めるものでございます。

提案理由といたしましては、平成31年度使用中学校教科用図書の採択のためでございます。

以上でございます。

○高須教育長

今回は、中学校における道徳の教科化に伴う、初めての教科書採択でございます。採択に当たりまして、これまでの教育委員会としての取組を確認いたします。

まず、7月上旬に中学校教科用図書の見本本全てについて、担当指導主事と調査研究を行いました。その後、見本本をお預かりし、大阪府の選定資料や調査員の報告書も参考にしながら、お互いに疑問点や意見を出し合い、検討してまいりました。

7月26日には、選定委員会からの答申の報告を受け、各委員がそれぞれの考えを深めてまいりました。

このような委員会の協議や、各自の学習をもとに、本日は最終的に1者の教科書を選んでまいります。

本日は、調査員の長でもある、校長先生にも来ていただいております。必要であれば、事務局、調査員にも質問していただいております。結構です。

それでは、最終的に本市の子供たちに一番適している教科書を採択してまいります。協議に入る前に、教科書の発行者名を略称で統一させていただきます。

発行者は8者ございます。東京書籍は東書、学校図書は学図、教育出版は教出、光村図書は光村、日本文教出版は日文、学研教育みらいは学研、廣済堂あかつきはあかつき、日本教科書は日科と呼称することといたします。

それでは、協議してまいります。

選定委員会からの答申では、6つの観点での報告がありましたが、まず答申を受けて、各委員の皆様から御意見ありましたらお願いいたします。

はい、真野教育長職務代理者。

○真野教育長職務代理者

報告のありました答申をもとに、改めて教科書を見ましたが、昨年の小学校の教科書の採択を踏まえ、いわゆる考える道徳・議論する道徳の授業を行うため、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考えることができるよう、各者とも、充実した内容となっているように感じました。

そのような中で、目標・内容の取扱いについては、答申にもありますように、東書・学図・教出・日文は教材の冒頭に、光村は冒頭と末尾に、あかつきは末尾に、主題となるテーマ等を設定しており、生徒らが何を学ぶのか意識できるようになっています。

生徒にとっても、何を考えるかが始めに分かる方が、クラス全体で学びやすいと思います。特に、教出は、冒頭に教材内容に応じたテーマを投げかける形で提示しており、ユニバーサルデザインの観点からも、学習の方向性を全員で共有でき、分かりやすいと感じました。

○高須教育長

ほかに、御意見はございませんか。

はい、坂本委員。

○坂本委員

学研・日科は、教材にあえて主題名を明記しないことで、生徒が主体的に課題意識を持ち、取り組むことができるよう工夫されています。教師の力量が問われるところかもしれませんが、生徒に考えさせる力がつくのではないかと感じました。

○高須教育長

はい。道徳の教科化の背景にもなった、いじめの問題、生命の尊重、また、変化の激しい社会において起こる様々な現代的課題に対して対応する力の育成が求められますが、その点ではいかがでしょうか。

はい、藤田委員。

○藤田委員

答申にもございましたが、いじめ問題については、各者ともに全ての学年で取り扱われていました。

特に、東書・光村・日文・学研は、ユニットや関連コラム、特設ページ等を設定し、考えが深められるよう工夫がされているように感じました。

○高須教育長

ほかに、御意見はございませんか。

はい、秋元委員。

○秋元委員

私は、「生命尊重」や情報モラルなどの様々な現代的な課題につきましても、全ての学年において複数の教材が取り扱われており、問題解決的な学習に取り組めるようになっていと感じました。

特に、印象的だったのは、現代的な人権課題として、性的マイノリティの観点です。東書・学図・日文・日科で、取り扱われていました。

これからの子供たちには必要な視点ではないかと思いました。中でも、学図は、多様な性について詳しく取り扱われており、共に生きることについての考えを深められると感じました。

○高須教育長

はい。この学習指導要領には、道徳教育は、道徳の授業を要として、学校教育全体を通じて行うものであり、各教科や総合的な学習の時間及び特別活動などの特質に応じて、生徒の発達段階を考慮して、適切な指導を行わなければならないとありますが、そのような点はいかがでしょう。

はい、坂本委員。

○坂本委員

組織配列の観点では、答申にもありますが、光村は、年間を発達段階に応じた4つのテーマに分け、学びのテーマを設定しているのが印象的でした。

学研は、重点テーマに関連する複数の教材を連続させ、学びが深まる工夫がされていました。

○高須教育長

ほかに、御意見はございませんか。

はい、玉井委員。

○玉井委員

教出ですが、架空の中学校「けやき中学校」を舞台にした教材を各学年に配置をしておきまして、学校生活と関連させて学ぶことができるように工夫されていました。

日科ですが、「リョウとマキ」という同じ登場人物が、各学年で登場し、学年間の関連を持たせているのが印象的でした。

あかつきは、内容項目についての解説が発達の段階に応じて表現が工夫されており、生徒に分かりやすいと感じました。

○高須教育長

ほかに、御意見はございませんか。

はい、藤田委員。

○藤田委員

内容項目の点で、少しお話させていただきます。

内容項目でいえば、日科は、他の教科書とは違うと思いました。内容項目順に教材が配置されているのがとても印象的でした。学校が、指導の時期や生徒の実態に合わせ、選択して学習できると思いました。

また、答申の創意工夫の観点にもありますが、東書・光村・日文・学研は、他の教科・領域との関連が記載されております。道德の時間に学習したことを、学校生活にいかし、多様な学習が展開できるよう工夫されていると感じました。

○高須教育長

はい。

創意工夫の観点でいうと、各者とも振り返りのページを設定し、評価につなげることができるような工夫がされていました。今回は、別冊がついている発行者がございました。この辺りは御覧になっていかがですか。

御意見をお聞かせください。

はい、真野教育長職務代理者。

○真野教育長職務代理者

別冊版としてあるのは、日文・あかつきです。

日文は、教科書にある問いかけがノートに記載されており、使いやすく感じました。

あかつきは、ノートにも図表などの資料があり、内容項目の解説が充実していました。生徒の振り返りだけでなく、学ぶべき道德的価値の理解の定着につながると感じました。各者とも、道德ノートの有無にかかわらず、教材の末尾や学期末の欄を設ける等、自らの成長を実感できるよう工夫がなされています。昨年の小学校の採択でも、ノートが話題になったと思いますが、寝屋川市では、独自に道德ノートを作成し、活用されていると思います。

そこで、調査員の方にお聞きしたいのですが、中学校の活用状況はいかがですか。

○高須教育長

後藤校長、その辺りはいかがですか。

○後藤第七中学校長

本市のノートは、比較的自由な使い方ができるような構成になっております。

中学校でも取組を進めておりますが、経験の浅い教員にとっては、自由な使い方ができるよりは、ある程度発問があり、記述が決められたノートの方が、取り組みやすいのではないかと感じています。

○高須教育長

真野教育長職務代理者、いかがですか。

○真野教育長職務代理者

ということは、道徳ノートがついている教科書でも効果的に活用できるということでしょうか。

○高須教育長

はい、後藤校長。

○後藤第七中学校長

はい。そのように考えております。

○高須教育長

ほかに、御意見はございませんか。

はい、坂本委員。

○坂本委員

学校・家庭・地域との連携という観点から申し上げますと、学図では、保護者の記入欄が設けられており、家庭と連携した道徳教育につなげる工夫がされていました。

教出は、先生・家の人からの記述欄を設けており、家庭と連携した道徳教育につなげる工夫がされていました。

日文は、道徳ノートの巻末に保護者記入欄を設けることで、家庭と連携した道徳教育につながる工夫がされていました。本市が取り組んできた道徳教育の方向性にも一致すると感じました。

○高須教育長

ほかに、御意見はございませんか。

はい、秋元委員。

○秋元委員

私は、東書・教出・光村が、巻末に郷土との関連を学ぶ資料が掲載されており、生徒が地域の良さに気付くことができるので良いと思いました。

○高須教育長

ほかに、御意見はございませんか。

はい、玉井委員。

○玉井委員

あかつきの教材末尾に掲載されている先人や著名人の名言は、教材と合わせて活用できると感じました。

また、学図が、各学年の教科書の冒頭に設定しているグループワークの内容は、年度当初の学級経営や良好な人間関係づくりに役立てることができるのではないかと感じました。

○高須教育長

学習指導要領では、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことが求められています。今お聞きしていると、どの教科書も、学習指導要領に沿った充実した内容だともいえます。ここまで、各委員から、各発行者の特徴について、様々な御意見をいただきましたが、少し絞って議論を深めていきたいと思えます。今までのお話や選定委員の答申、調査員の報告で、評価の高かった発行者について、議論をしていく形で進めさせていただきます。

御意見は、ございますでしょうか。

はい、真野教育長職務代理者。

○真野教育長職務代理者

私は、答申の中の全ての観点で、特徴が報告されている日文が、良いように思います。別冊の道徳ノートも、現在、市で使用しているものとよく似ていて、これまでの本市の取組をいかすことができるのではないかと思います。

○高須教育長

ほかに、御意見はございませんか。

はい、藤田委員。

○藤田委員

私は、光村が良いのではないかと思います。

答申の中でも、多くの観点で特色が報告されていますし、小学校は本年度より光村を使用しておりますので、本市の小中一貫教育の観点から、小学校とのつながりを考えると光村が良いのではないかと思います。

○高須教育長

ほかに、御意見はございませんか。

はい、坂本委員。

○坂本委員

私はどの発行者も充実しているので、悩むところですが、委員の言われた2者、日文と光村は、評価は高かったように思います。

○高須教育長

ほかに、御意見はございませんか。

はい、玉井委員。

○玉井委員

どの発行者もそれぞれ良いところがあるのですが、調査員からの報告では、光村・日文だけでなく、今まで中学校で活用してきた「心のノート」との関連から、中学校教員にとって親しみのある教材を多く取り扱っている、あかつきの評価も高かったように思います。

○高須教育長

ほかに、御意見はございませんか。

はい、秋元委員。

○秋元委員

皆様のお話を伺っていると、私も、光村・日文・あかつきの評価が高いように感じました。

○高須教育長

はい。

今、出ているのは、光村、日文、あかつきの3者だと思います。この3者に絞って議論を進めてまいります。

さらに、御意見がありましたら、よろしく願いいたします。

はい、坂本委員。

○坂本委員

私は、現在中学生の子供がいるので、昨今、子供の鞆の重さが話題に挙がっているように、教科書のサイズが、気になりました。

あかつきは少し大きく感じますし、光村は分厚いように感じます。

○高須教育長

ほかに、御意見はございませんか。

はい、秋元委員。

○秋元委員

私も、教科書は小さくて薄いものの方がいいと思います。その点で行くと、日文は、道徳ノートも含めてちょうど良い大きさのように思いましたし、使いやすいのではな
いかと感じました。

○高須教育長

ほかに、御意見はございませんか。

はい、真野教育長職務代理者。

○真野教育長職務代理者

見やすさの視点からみると、光村、あかつきはシンプルに作られていて、見やすく
て良いと思いました。

日文は、カラフルな配色になっていますが、特に気にならない程度であると思
いました。

○高須教育長

ほかに、御意見はございませんか。

はい、秋元委員。

○秋元委員

見やすさでいうと、文字の大きさについては、光村の文字は、少し小さいのではないかと感じました。

○高須教育長

ほかに、御意見はございませんか。

はい、玉井委員。

○玉井委員

実際に教科書を御示ししたいのですが、日文1年生の40ページと、あかつき1年生の道徳ノートの24ページを御示しいただけますでしょうか。

○高須教育長

それでは、事務局お願いします。

はい、玉井委員。

○玉井委員

日文は、学習の進め方に実際の写真を使い、どの生徒にも分かりやすいように工夫がされていると思いました。先生や生徒にとって、学習が進めやすく、時間の短縮になり、その分グループワーク等の時間が確保できるのではないかと感じました。

あかつきは、図表や数値もあり、工夫されていると感じました。文章だけで内容が理解できる子供や、写真や、図表を用いることによって納得する子供など、様々だと思います。このような図表が多く掲載されていることで、子供たちにとって、より分かりやすくなるのではないかと感じました。

○高須教育長

ほかに、御意見はございませんか。

はい、藤田委員。

○藤田委員

光村は、教材の最初に、必ず作者名が明記されています。

私は、やはり作品は作者が責任を持って書くものだと考えておりますので、最初に明記されることは、個人的な考えにはなりますが、必要だと思っております。

光村は、教科書としては丁寧に作られていると感じました。

また、日文は、作者の写真が合わせて掲載され、とても工夫されており、親しみを感しました。

○高須教育長

大きさや見やすさについては、日文の評価が高いように感じますが、その他の点では、いかがでしょうか。

はい、真野教育長職務代理者。

○真野教育長職務代理者

日文の1年生の43ページを御示しいただきたいのですが、お願いできますでしょうか。

うか。

○高須教育長

それでは、事務局お願いします。

はい、真野教育長職務代理者、続けてお願いします。

○真野教育長職務代理者

3者ともコラム等が工夫され充実しているのですが、特に日文の「プラットホーム」は、ここでは、いじめと向き合うという教材の中で、怒りの感情と上手に付き合おうということで、その内容を「プラットホーム」でしっかり示しているということで、教材に関連した内容となっており、教材の学びを深めるという点で、非常に分かりやすく示されていると私は思っています。

○高須教育長

ほかに、御意見はございませんか。

はい、藤田委員。

○藤田委員

学習の方向性という点について、意見を申し上げます。

教師の発問も大切だと考えます。各者とも教材に応じて発問が例示されています。

光村は、教材末尾に「学びのテーマ」を大きく取り上げるとともに、発問例を具体的に示してあり、考える視点が、広がりやすいと感じました。

○高須教育長

ほかに、御意見はございませんか。

はい、玉井委員。

○玉井委員

あかつきも複数の発問が、教材末に示されていて良いと思いました。クラスの状況によって、どの発問を取り上げるのか選択肢することができて、柔軟に授業が展開できるのではないかと思います。

○高須教育長

冒頭にも申し上げましたが、寝屋川市では、各中学校で道徳の教科化に向けた準備が進んできております。各中学校で子供たち同士が考え合い議論する道徳を実践するための授業づくりが充実してきております。

しかし、先ほど後藤校長の話にもありましたが、経験の浅い教員が増えていることもあり、特別の教科として、教えるべき観点は、しっかりと示した上で、授業を展開していく方が、今までの取組もいきてくるのではないかと思います。

そういった意味では、3者とも、学習のテーマが示されており、発問例も充実しているように感じております。

そこで、少し視点を変えて、教科化を迎える中で、評価の観点は大変重要になってくると思います。3者とも書かせることで、記録を残し、評価しやすくなるように工夫されているようですが、その辺りについては、いかがでしょうか。

はい、真野教育長職務代理者。

○真野教育長職務代理者

評価ということで、私の意見を述べたいと思います。

子供たちの自由な発想や考えを大切にする中で、先生方が生徒一人一人の良さを伸ばして、成長を促す為の適切な評価を行っていくことは、大変大切なことでもあり、難しいことだと思います。

そこでまた、教科書を見ていただきたいと思います。1年生の教科書で、光村の巻末のページ、日文の道徳ノートの4ページ、あかつきの道徳のノートの3ページを御覧ください。

○高須教育長

それでは、事務局お願いします。

はい、真野教育長職務代理者、続けてお願いします。

○真野教育長職務代理者

光村は、各教材末尾の「私の気づき」に加えて、シーズンごとに「学びの記録」のページがあります。

それから、日文、あかつきには、道徳ノートが別冊としてあり、書く活動は全てノートに書くこととなります。しっかり自分の思いを書かせることで、子供たちの思考を促すこともできますし、また、記録として残したものを評価することもできます。家庭との連携を図るという意味でも、非常に良いように思っております。

○高須教育長

ほかに、御意見はございませんか。

はい、玉井委員。

○玉井委員

3者を比較すると、光村の「学びの記録」は、各シーズンのテーマごとに記述する形式をとっていきまして、子供たちにとって、焦点を絞って書くことが難しいのではないかと感じました。

あかつきは、教材ごとではなく、内容項目で記入欄がまとまっていますので、一時間ごとの授業の振り返りを記入しにくいのではないかと感じました。

また、道徳ノートの巻末にある自己評価は、少し細かすぎるように感じました。

○高須教育長

ほかに、御意見はございませんか。

はい、真野教育長職務代理者。

○真野教育長職務代理者

今、玉井委員から、光村とあかつきについての御意見がありましたが、そういった点から見ますと、日文は、記述欄に加えて、毎時間記入する自己評価の項目も、非常に工夫されていると思いますし、このような振り返りの方が、評価に活用しやすいのではないかと私自身は思っております。

○高須教育長

ほかに、御意見はございませんか。

はい、玉井委員。

○玉井委員

評価をするに当たっては、先生や学級によって、差が出ないことが大切だと思うのですが、実際に子供たちを指導する先生方の立場から考えるとどうでしょうか。

○高須教育長

実際に、指導する立場でありました藤田委員、いかがですか。

○藤田委員

元教員の立場から申し上げます。

教育長がおっしゃったように、経験の浅い先生が増えている現状から考えると、教科書に付いている道德ノートを活用することで、一定指導や評価の質がそろうことも私は期待できるのではないかと感じております。

○高須教育長

ほかに、御意見はございませんか。

はい、秋元委員。

○秋元委員

確かに学校所見でもありましたが、あかつきは教科書としては、馴染みがありますが、日文の方が道德ノートとして指導しやすいように私自身は感じております。

○高須教育長

ほかに、御意見はございませんか。

はい、坂本委員。

○坂本委員

先ほど真野委員がおっしゃっていましたが、日文の別冊の道德ノートを活用することで、今までの本市の取組を継承していくこともでき、経験の浅い教員が増える中で授業や評価の質も担保していけるのではないかと思います。

○高須教育長

今までの議論を集約すると、日文の教科書が、皆様の御意見の中では、より適しているように感じますが、その辺りはいかがでしょうか。

はい、坂本委員。

○坂本委員

私も、日文が良いと思います。

○高須教育長

ほかに、御意見はございませんか。

はい、玉井委員。

○玉井委員

私も、日文が寝屋川の子供たちに適していると思います。

○高須教育長

委員の皆様全員が日文との御意見と思われます。

それでは、日文に決定したいと思いますがいかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○高須教育長

御異議なしと認めます。よって、「特別の教科 道徳」は、日本文教出版を採択することに決めます。

ほかに報告はございませんか。

では、ないようですので、これをもちまして教育委員会臨時会を終了させていただきます。